

# 公益財団法人 食の新潟国際賞財団 令和5年度活動計画

(令和5年5月1日～令和6年4月30日)

## 目 次

1. 理事会・評議員会の開催
2. 「第8回食の新潟国際賞」の推薦募集及び選考事業
3. 講演会・会員セミナーの開催
4. 佐野藤三郎氏の顕彰と広報拡大  
佐野藤三郎氏生誕100年記念事業の開催
5. 受託事業
6. 食料産業分野の人材育成と大学との連携促進事業  
「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト開催
7. 地域貢献事業（情報発信・交流）
8. 広報活動と活動の充実
9. 企画運営委員会の開催
10. 資金基盤の確立
11. 食と花の世界フォーラム組織委員会への参加
12. ネットワークの構築と事業参加及び協力

## 令和 5 年度活動計画（令和 5 年 5 月 1 日～令和 6 年 4 月 30 日）

令和 5 年度は、第 8 回食の新潟国際賞の推薦募集事業と、受賞候補者の選考活動を行い、公募活動を通じて財団と国際賞の国内外への広報活動を積極的に行い、認知度アップを図る。

また、令和 5 年は佐野藤三郎氏の生誕 100 年にあたることから関係団体と共同で「佐野藤三郎生誕 100 年記念事業」を実施し、事業を通じて、佐野氏の認知を広め、顕彰するとともに今後の新潟の情報発信や発展につなげる。

また、財団のネットワークを活かし行政や産業界、大学研究機関との連携により、食品産業や農業をテーマにした講演会やセミナー、研究会を開催し食に関する最新の情報の収集と提供に努める。

特に若者の食と農分野への関心と財団とのネットワークの構築を図るために、学生ビジョンコンテストを開催し、国際賞の広報と食品産業や農業の人材育成につなげる。

=====主な活動計画=====

### 1. 理事会・評議員会の開催

#### (1) 理事会開催

定時理事会	令和 5 年 6 月 26 日	新潟市内で開催
定時理事会	令和 6 年 4 月	新潟市内で開催

#### (2) 評議員会開催

定時評議員会	令和 5 年 7 月	新潟市内で開催
--------	------------	---------

### 2. 「第 8 回食の新潟国際賞」の推薦募集及び選考事業

「第 8 回食の新潟国際賞」（令和 6 年 11 月表彰式予定）受賞候補者推薦募集事業及び選考委員会を設置し選考作業を行う。

#### (1) 国際賞推薦募集活動

①第 8 回国際賞推薦要項の決定

理事会（6月）において国際賞推薦要項を決定

②推薦依頼・推薦募集事業（令和5年9月～同年12月末）

受賞候補者の推薦依頼を下記の国内外の機関・団体、個人などに依頼するとともにホームページやメールにて広く推薦を呼びかける。

<主な推薦依頼先・推薦者紹介依頼先>（案）

- a. 国連機関（FAO・WFP・日本ユネスコ・国連大学・UNDP）
- b. 大使館・在新潟総領事館（直接または（公財）フォーリン・プレスセンター経由）
- c. 国際研究機関（CGIAR傘下・IRRI・WARDA・CIMMYT その他）
- d. 海外農業・科学アカデミー
- e. 国内の農業・食品研究機関（農研機構傘下研究所・JIRCAS・STAFF 他）
- f. 国内大学・附属研究機関
- g. 海外の大学・附属研究機関
- h. 国内学会
- i. JICA（国際協力機構）
- j. 国内（農業・食料・SDGs関係）NGO及びNPO法人
- k. 農業ジャーナリストの会
- l. 国際農業ジャーナリスト連盟
- m. 日本科学技術ジャーナリスト会議
- n. 新聞社、マスコミ
- o. 県内各機関（大学・企業・研究機関・農業団体・食品団体・組合）
- p. 国内民間シンクタンク（農業・食分野）
- q. 食と健康フォーラム・財団セミナー等の講師
- r. 食の新潟国際賞財団役員・寄付者・賛助会
- s. 推薦応募者の再推薦
- t. 過去国際賞受賞者及び関係団体

（2）選考事業（令和5年6月～令和6年5月）

①国際賞選考委員会の設置及び選考作業

イ. 第8回食の新潟国際賞選考委員並びに委員長を理事会（令和5年6月）において決定し委嘱する。

ロ. 選考要領の決定（令和5年11月）

選考方針、選考方法、評価法について、第8回選考委員長が選考要領を定める。

ハ. 推薦書書類整理（令和6年1月～2月）

事務局による申請書の整理及び選考員長との事前協議。

ニ. 第1次書類審査

各選考委員による書類審査、評価表の提出。

ホ. 選考委員会の開催（令和6年5月開催予定）

選考委員会を開催し複数の受賞候補者を選考し理事会へ答申する。

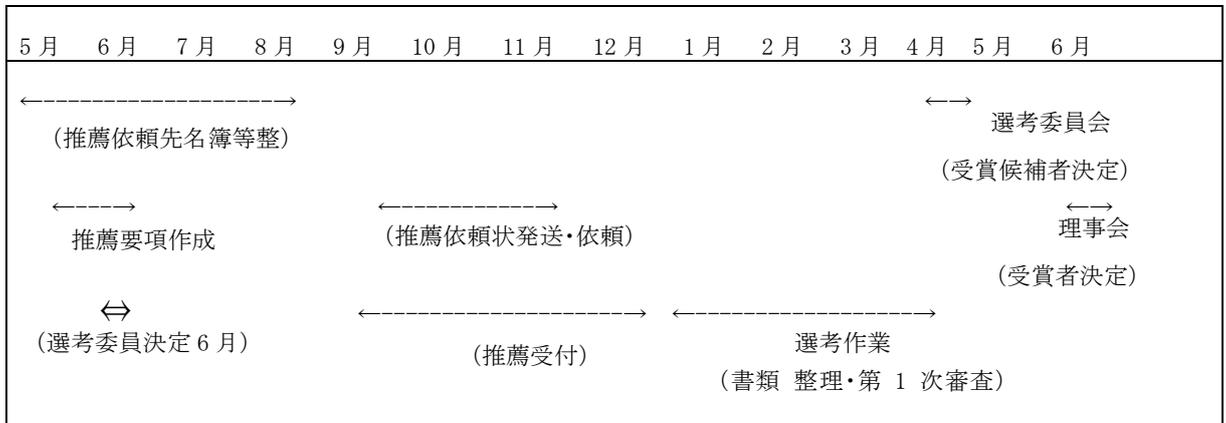
②受賞者の最終決定（令和6年6月）

選考委員会から提出された受賞候補者から理事会において受賞者を決定する。

（参考）第7回食の新潟国際賞選考委員名簿

構成	氏名	所属・職名
委員長	唐木 英明	(公財)食の安全・安心財団 理事長、東京大学名誉教授
委員	赤阪 清隆	(公財)フォーリン・プレスセンター 理事長
委員	石井 勇人	(株)共同通信社 取締役 アグリラボ室長
委員	今野 正義	日本食糧新聞社 代表取締役会長 CEO
委員	清水 誠	東京大学名誉教授
委員	生源寺眞一	福島大学食農学類学科長、東京大学名誉教授
委員	西澤 直子	石川県立大学学長、東京大学名誉教授
委員	伊藤 忠雄	新潟大学名誉教授
委員	渡辺 聡	新潟県農業総合研究所 食品研究センター長

④第8回食の新潟国際賞選考スケジュール(令和5年5月～令和6年6月)



### 3. 講演会・会員セミナーの開催

財団のネットワークを生かした食品産業や農業に関連したテーマの講演会やセミナーを開催し最新の情報提供を行う。

(1) 会員連続セミナー (年3回)

会員の関心あるテーマを中心に会員限定のセミナーの開催

(予定テーマ)

- ①新潟の食品産業について
- ②佐野藤三郎氏について
- ④食料安保

(2) 特別講演会 (年2回) 会員と市民向けの公開講演会 (WEB)

国際賞受賞者から受賞後の研究活動と成果について講演

(予定講師)

- ① マーシー・ニコル・ワイルダー氏 (第4回佐野藤三郎特別賞受賞者)

国際農林水産業研究センター水産領域プロジェクトリーダー  
2023年度日本農学賞・読売農学賞受賞

- ② 大坪研一氏 (第6回佐野藤三郎特別賞受賞者)

新潟薬科大学 特任教授  
2022年度日本農学賞・読売農学賞受賞

- (3) 新春講演会（新年を迎えての食と農の展望をテーマにした講演会）  
シンポジウム形式を検討 テーマ 未定  
令和6年 2月 開催予定

#### 4. 佐野藤三郎氏の顕彰・広報活動 佐野藤三郎生誕100年記念事業の開催

令和5年は佐野藤三郎氏の生誕100年（1923年11月25日 誕生日）にあたることから関係団体と協力し生誕100年記念事業実行委員会を組織し、記念事業を開催する。

- (1) 佐野藤三郎生誕100年記念事業実行委員会（会長 池田 弘）

団体・機関名	代表者職名	氏名
(公財) 食の新潟国際賞財団	理事長	池田 弘
亀田郷土地改良区	理事長	杉本 克己
新潟商工会議所	会頭	福田 勝之
新潟経済同友会	代表幹事	山本 善政
亀田商工会議所	会頭	五十嵐 豊
新潟日報社	代表取締役社長	佐藤 明
新潟県土地改良事業団体連合会	会長	三富 佳一
新潟県日中友好協会	会長	五十嵐 祐司
新潟県対外科学技術交流協会	会長	中山 輝也
(公財) 古泉財団	代表理事	古泉 肇
にいがた22の会	会長	五十嵐 祐司

- (2) 主要事業

- ① 記念式典・シンポジウム及びセミナー（市民向け）の開催
- ② 佐野藤三郎氏の名誉市民称号受賞運動
- ③ 記念資料作成及び配布（佐野藤三郎氏の足跡・歩み・寄稿文）
- ④ 佐野藤三郎氏のマンガ出版・配布・販売（財団独自事業）
- ⑤ 佐野氏ゆかりの地を巡る小ツアー
- ⑥ 児童・生徒を対象とした佐野藤三郎氏の認知拡大事業（マンガ・動

画の活用)

⑦ マスコミ等との共同・協賛企画事業

(3) 事業期間 令和5年4月～令和6年3月

(4) 佐野藤三郎氏の周知拡大のための広報活動

佐野藤三郎氏関連の資料の作成配布(財団通信・財団ホームページ)

## 5. 受託事業

食と花の世界フォーラム組織委員会(事務局 新潟市)からの受託事業。

第16回市民公開講座 新潟「食と健康」フォーラム

テーマ「健康寿命を延ばそう」(仮称)

開催日 令和5年10月28日(土)

会場 新潟日報メディアシップ ホール

(県内食品企業による機能性食品・介護・医療食の展示紹介を併催も検討)

市民を対象とする食と健康をテーマにした新潟「食と健康」フォーラム  
実行委員会の協力によるセミナーの開催。

## 6. 食料産業分野の人材育成と大学との連携促進事業

「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト

県内学生の食と農への関心高め、県内食料産業の将来を担う人材育成を図り  
併せて財団の周知拡大と県内大学との連携を図る。

学生(大学・大学院・専門学校)を対象とする、「新潟の食品産業・農業の  
活性化・振興」をテーマにしたビジョン発表コンテストを開催する。

(1) 開催時期 参加エントリー締め切り 6月16日(金)

参加者オリエンテーション 6月24日(土)

第1次審査(書類) 10月16日(月)

決勝大会・表彰式 11月18日(土)

会場 開志専門職大学紫竹山キャンパス

(2) 表彰 最優秀賞 (1) 優秀賞 (2) 特別賞 (7)

実行委員会名簿

(順不同・敬称略)

構成	氏名	所属・大学名	職名
委員	西海 理之	新潟大学	農学部長 自然科学系 教授
委員	細谷 祐二	新潟県立大学	国際経済学部 国際経済学科長 教授
委員	永井 徹	新潟医療福祉大学	健康科学部 健康栄養学科 教授
委員	武本 俊彦	新潟食料農業大学	食料産業学部長 教授
委員	重松 亨	新潟薬科大学	応用生命科学部 教授
委員	高橋 肇	亀田製菓(株)	執行役員 お米総合研究所所長
委員	浅野 和男	(株)ブルボン	常務取締役執行役員
委員	高島 正樹	一正蒲鉾(株)	取締役常務執行役員
委員	大塚 清一郎	新潟日报社	執行役員 総合プロデュース室長
委員	小見 禎彦	JA 新潟中央会	農業地域対策部 部長
委員	遠藤 二郎	亀田郷土地改良区	事務局長
委員	鈴木 伸作	財団	常務理事
事務局	駒形 正明	財団	事務局長

(3) 令和4年度(実績)

参加エントリー数 50 チーム

(県内9大学、5大学院、高等専門学校1、専門学校1、農業大学校1)

最優秀賞(グランプリ) 新潟薬科大学 大学院

優秀賞 新潟薬科大学、長岡工業高等専門学校

## 7. 地域貢献事業(情報発信・交流)

「SDGs」への理解と活動を推進するための講演会やセミナーを企画し、寄付者や賛助会員、協力関係者への情報提供を行うとともに、一般公開し地域経済振興への貢献を図る。

(1) 食の新潟国際賞受賞者特別講演会の開催(再掲)

国際賞受賞者を講師とする特別講演を開催し国際賞の周知と推薦募集の拡大を図る。

## (2) SDG s の活動促進事業

SDG s への理解と浸透を促進するため、(一社) 地域創生プラットフォームSDG s にいがた (事務局新潟日報社) と連携して事業への参加と協力を行う。

### ① SDG s に関するシンポジウム・セミナーへの参加と協力

セミナー事業に財団関係者の参加と講師などの派遣に協力する。

### ② 「第4回新潟SDG s アワード」での食の新潟国際賞財団特別賞贈呈

県内の食と農分野で「SDG s」活動に積極的に取り組み大きな成果をあげその活動が他の模範となる企業・団体に「食の新潟国際賞財団特別賞」を設け贈呈する。

第3回 (令和4年度) 結果 令和5年3月21日表彰式

大賞 (株)カルビー

「粟島 一人娘の持続的な農業モデルへの挑戦」

食の新潟国際賞財団特別賞 新潟県立新潟商業高等学校

「ぱくロス もったいない!! をなくしたい」

## 8. 広報活動

第8回食の新潟国際賞の推薦募集や佐野藤三郎生誕100年記念事業を通じて国際賞や財団の活動の周知拡大に努める。特に海外への情報発信を充実する。

### (1) ホームページ

- ①第8回国際賞受賞者推薦公募の広報・情報掲載
- ②佐野藤三郎についても周知広報拡大 (生誕100年記念事業)
- ③財団・国際賞の概要紹介
- ④財団事業広報及び報告 (財団主催事業・セミナー・講演会報告)

### (2) 財団通信 (Niigata Award News)

財団の広報誌として事業活動報告や経済情報などを掲載し、寄付事業

所・賛助会員・財団役員・協力関係団体へ送付し、財団と国際賞の周知を高め、事業の活発化とネットワークを図る。

- ①国際賞表彰事業に関する広報や情報発信（ホームページと連動）
- ②財団の事業活動の広報と事業報

(3) 財団紹介パンフレット（改訂版）

財団および国際賞表彰事業を紹介し、財団活動のPRや国際賞推薦募集活動や寄付・賛助会員の拡大活動に活用する。

(4) セミナー及び講演記録の広報

財団主催の講演内容をまとめて配布する。

(5) 中国黒龍江省ジャムス大学における「新潟館」でのPR事業

ジャムス大学外国語学院内の展示室「新潟館」内でのPR展示物（主に食品サンプルやパンフレット）の入れ替え。

「新潟館」は財団訪中団の派遣交流により中国黒龍江省政府とジャムス大学の協力により、2018年第3次財団訪中団派遣時に展示館を開館  
主な展示内容

- ①佐野藤三郎氏と三江平原開発協力活動の紹介（パネル・パンフ）
- ②食の新潟国際賞財団および国際賞の紹介（ビデオ・パンフ）
- ③新潟県・新潟市の観光紹介（ビデオ・パンフ）
- ④新潟県内の食品産業のサンプル及びパンフレットの展示紹介

## 9. 企画運営委員会の開催

財団の運営安定化と積極的な事業活動を展開するために企画運営委員会を設置し財団事業活動の協力や理事会への提言および財団事務局へのサポートを行う。

(1) 開催 年4回開催予定

(2) 主な協議事項

- ・主要事業の計画及び予算についての意見・提言
- ・主要事業の事業実施・運営のサポート

企画運営委員会委員名簿

(順不同・敬称略)

区分	氏名	所属・職名
委員長	大坪 研一	新潟薬科大学 応用生命科学部 特任教授
委員	高橋 肇	亀田製菓(株) お米総合研究所 所長
委員	浅野 和男	(株)ブルボン 常務取締役 執行役員
委員	高島 正樹	一正蒲鉾(株) 取締役 経営企画部長
委員	西海 理之	新潟大学 農学部長 自然科学系 教授
委員	大塚 清一郎	新潟日報社執行役員 総合プロデュース室長
委員	遠藤 二郎	亀田郷土地改良区 事務局長
委員	武本 俊彦	新潟食料農業大学 食料産業学部長 教授
委員	鈴木 伸作	(公財)食の新潟国際賞財団 常務理事
オブザーバ	高野 好弘	NSGグループ 役員室 参与
事務局	駒形 正明	(公財)食の新潟国際賞財団 事務局長

## 10. 資金基盤の確立

寄付者・賛助会員の拡大により、財団の資金基盤の強化に継続して取り組む。

### (1) 寄付金募集活動（正会員）

公益財団法人の寄付金の税制優遇制度を生かし寄付者の募集活動に努める。

### (2) 賛助会員募集活動（法人・個人）

企業・団体・個人への賛助会員の入会勧誘活動を積極的に行う。

特典として財団通信はじめ情報の提供、財団主催セミナー・シンポジウムの案内、国際賞表彰式・交流祝賀会への招待など。

## 11. 賛助会員拡大事業

賛助会員の新規加入者の勧誘と会員継続活動に取り組む。

### (1) 紹介・勧誘・拡大事業の実施

役員・会員等からの紹介を得て、賛助会員の勧誘・拡大を行う。

(2) 賛助会員の拡大に結びつく事業の検討

各種事業を通じて、公益財団法人を支える個人会員の拡大につなげる。  
実施事業と、財団や佐野藤三郎氏の認知度、会員拡大が連動する仕組みづくり。

(3) 寄付者・賛助会員の状況

年度	寄付者	賛助会員		合計
		企業団体	個人	
令和元年	19	41	81	141
令和2年	19	43	180	242
令和3年	18	46	180	244
令和4年	18	48	185	251

## 12. 食と花の世界フォーラム組織委員会への参加

食と花の世界フォーラム組織委員会へ参加し協力連携を強化し、共同事業に参画する。

- (1) 「フードメッセ in にいがた 2023」(11月8日～10日)
- (2) 新潟市食文化創造都市推進プロジェクト事業協力
- (3) 新潟「食と健康」フォーラム開催(10月28日)

## 13. ネットワークの構築と事業参加及び協力

国内外の国際関係機関・行政・企業・大学・経済関係団体等との連携を図り、事業に積極的に参加・協力をする。

- ① F A O (国際連合 世界食糧農業機関)、W F P (国連世界食糧計画)などの国際機関や J I C A (国際協力機構)、(公財)フォーリン・プレスセンターとの交流及び連携活動。

- ② 国・新潟県・新潟市などの行政や経済団体との連携と事業の参加。
- ③ 新潟市内在外公館や国際交流機関・団体・経済研究所との交流・連携。
- ④ 県内大学・研究機関との連携関係協働事業に参加し、連携関係を進展させる。
- ⑤ 6次化産業の振興と育成事業への参加  
新潟市農業活性化研究センター及び（一社）健康ビジネス協議会との連携協力。